

表 1 調査項目

生年・原因傷病の発症（受傷）年月・性別
原因傷病およびその発症（受傷）後に受療した病院の種類
急性期病院での状況
退院時における支援機関など相談先の情報提供
発症（受傷）後～診断までの間に相談した機関
高次脳機能障害の診断を受けた病院・診療科（A）
（A）初診日・どのように知ったか・受診したきっかけ
（A）で診断を受けた後に利用したサービス
診断後最初に相談した機関（B）に初めて相談した日
障害者手帳取得状況
現在の状況
現在の課題・それをどこがサポートしてきたか
発症（受傷）から（A）の初診日までの期間（年）
（A）を受診するまでに時間がかかったことによる弊害
発症（受傷）から（B）の初回相談日までの期間（年）
支援が途絶えた時期
支援開始が遅れた理由

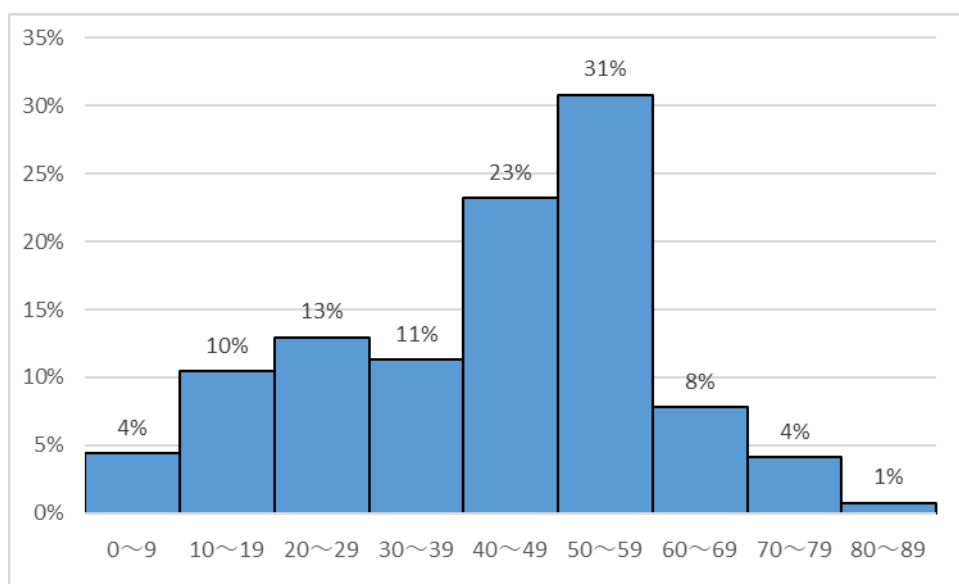


図 1 原因傷病の発症（受傷）時年齢

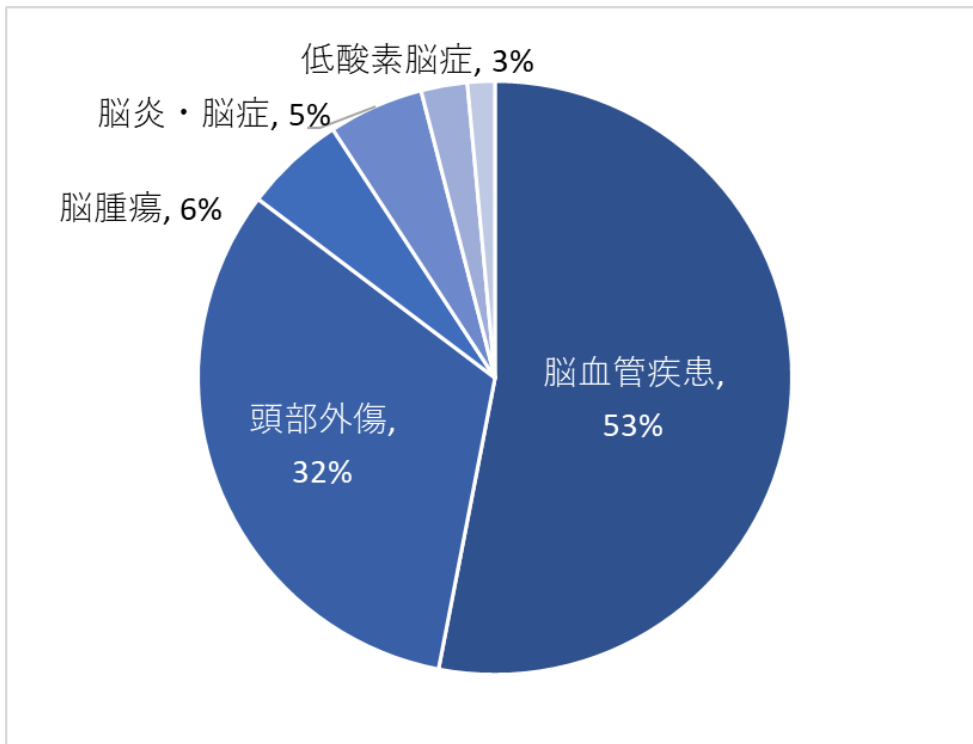


図 2-1 原因傷病

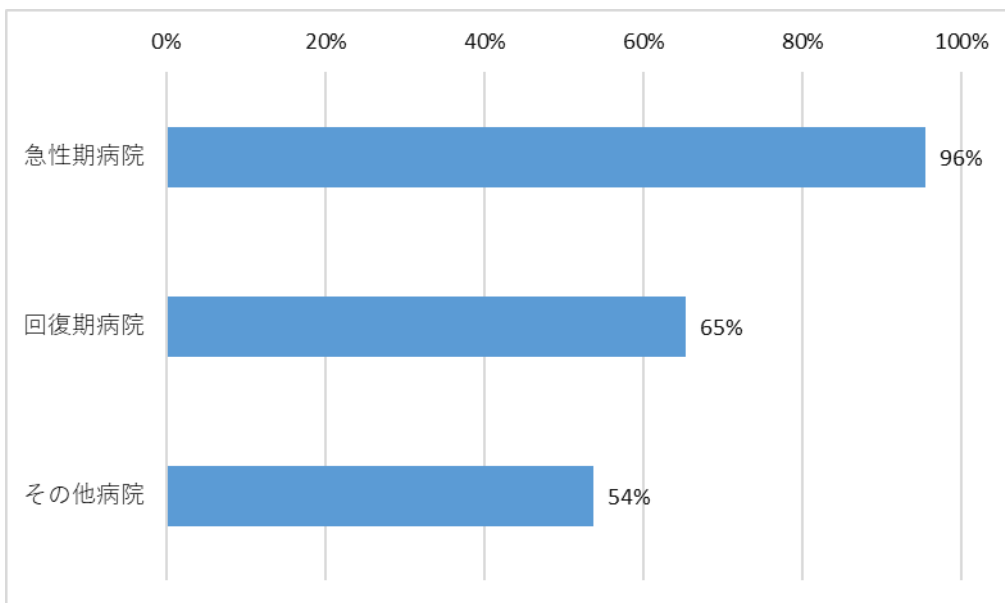


図 2-2 原因傷病の発症（受傷）後に受療した病院の種類

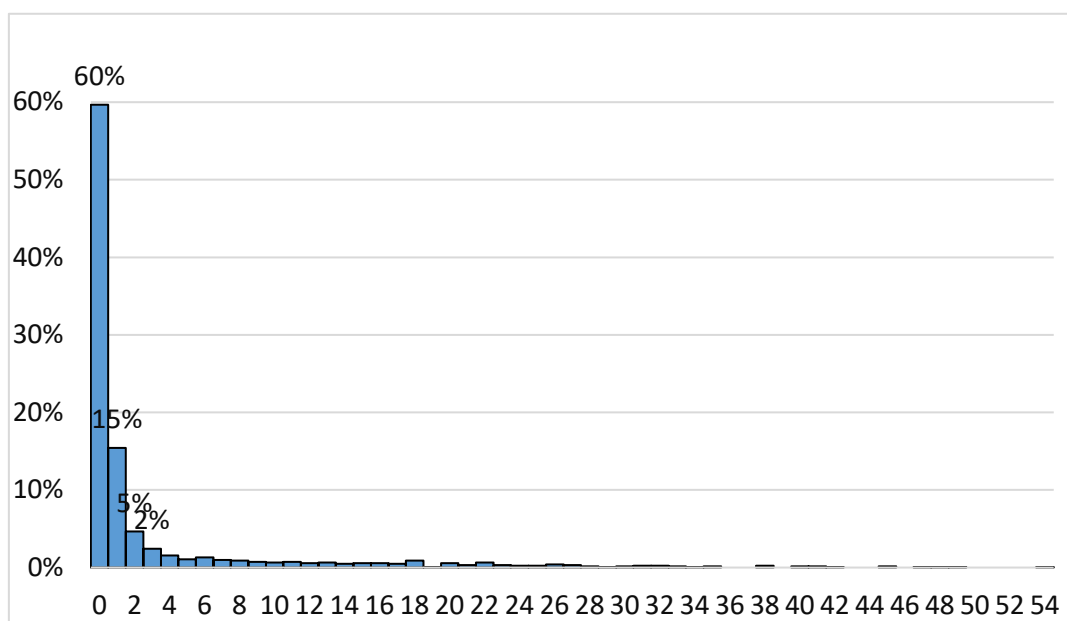


図 3-1 発症（受傷）から診断可能な医療機関への初診までの期間

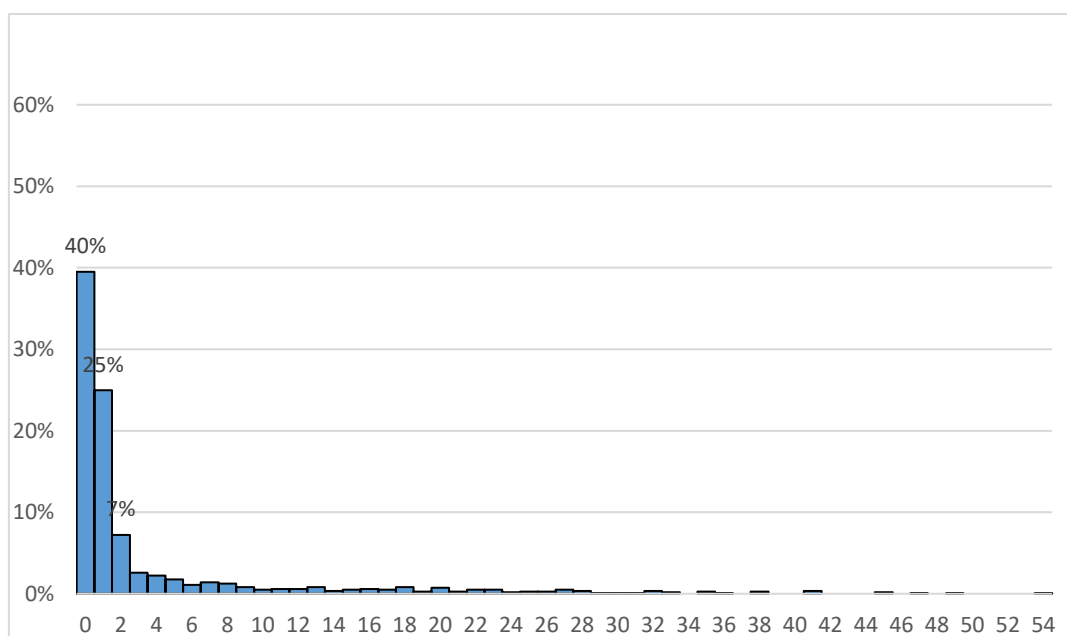


図 3-2 発症（受傷）から相談機関や行政窓口等への相談までの期間

表4-1 初診までに時間がかかった要因

		B	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	Exp(B)
ステップ 1 ^a	情報提供有無	.009	.002	19.017	1	.000	1.009
	受傷時年齢	-.057	.005	132.903	1	.000	.944
	原因傷病別	-.137	.080	2.894	1	.089	.872
	定数	.906	.270	11.241	1	.001	2.475

a. ステップ 1: 投入された変数 情報提供有無, 受傷時年齢, 原因傷病

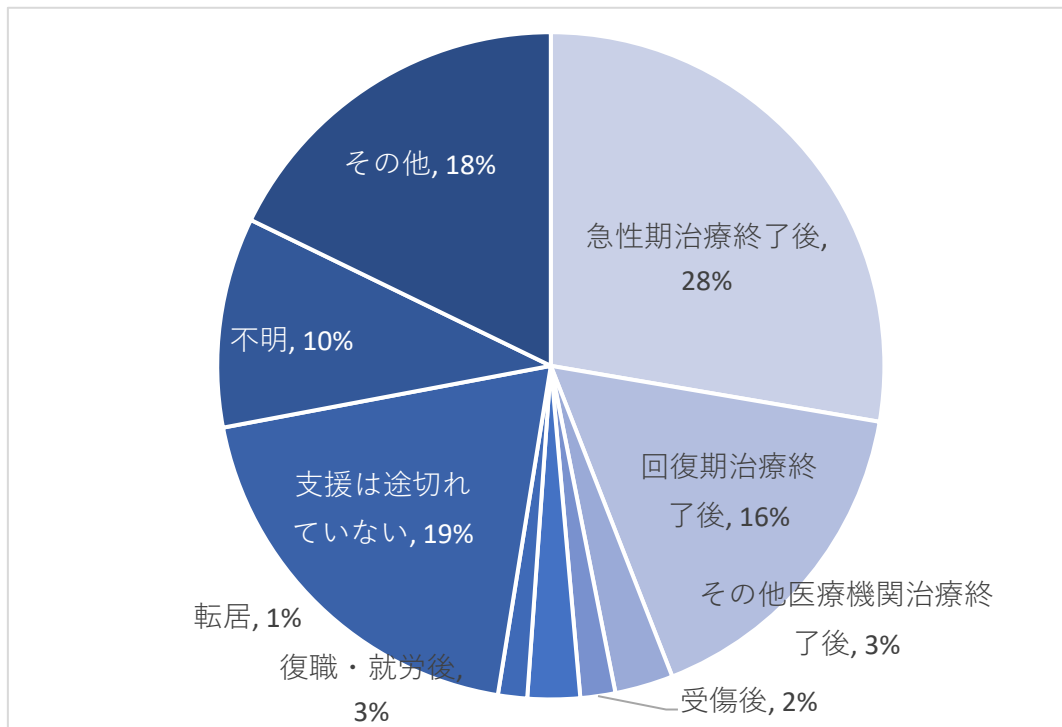


図 5-1 診療・支援が途絶えた時期

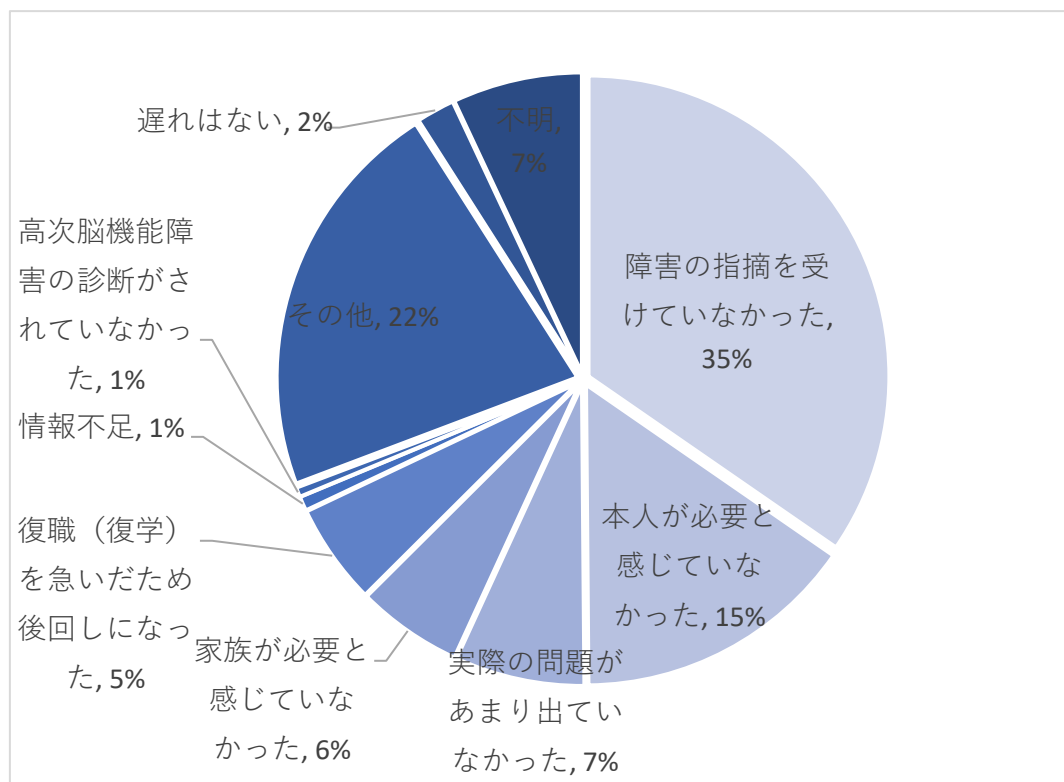


図 5-2 途絶の理由

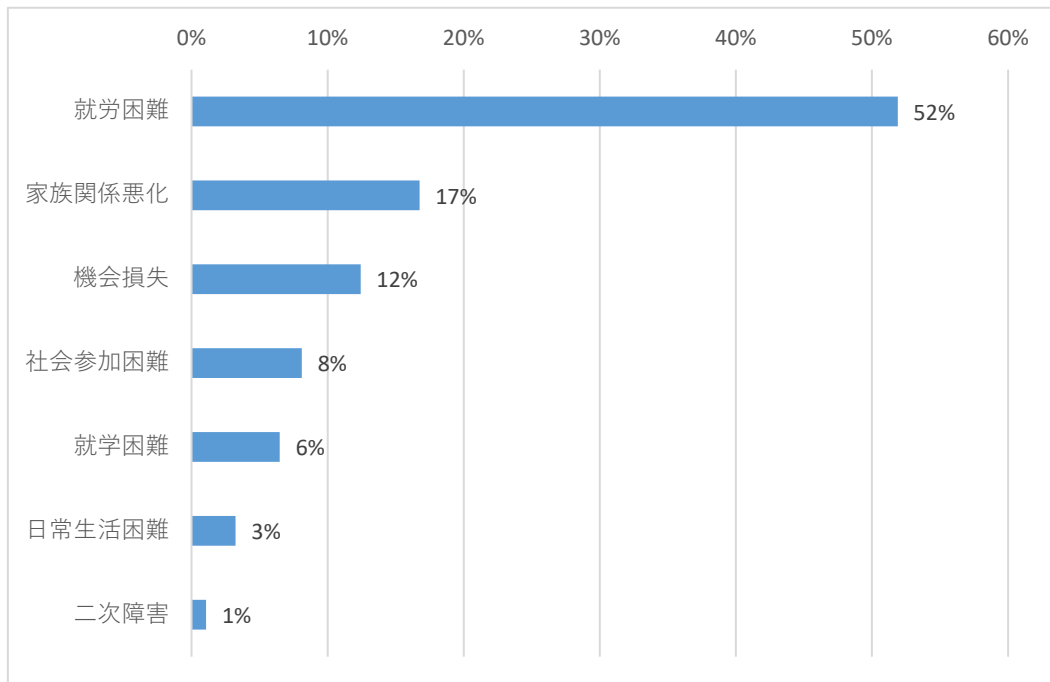


図 5-3 支援途絶の影響

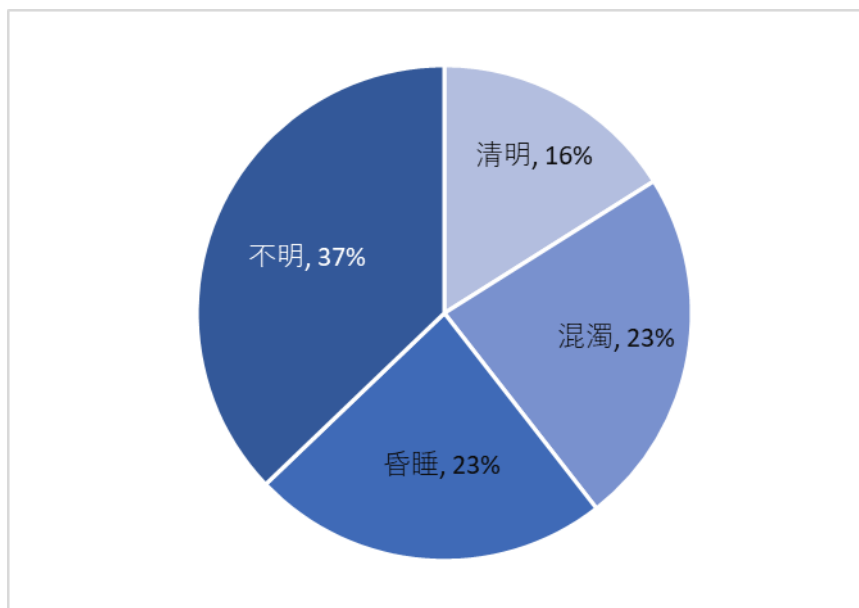


図 6-1 入院時の意識障害

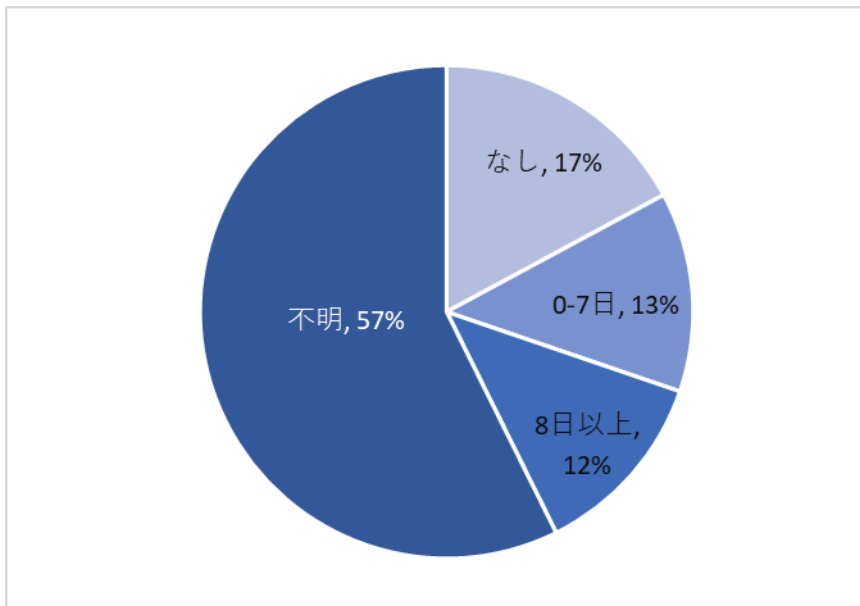


図 6-2 昏睡期間

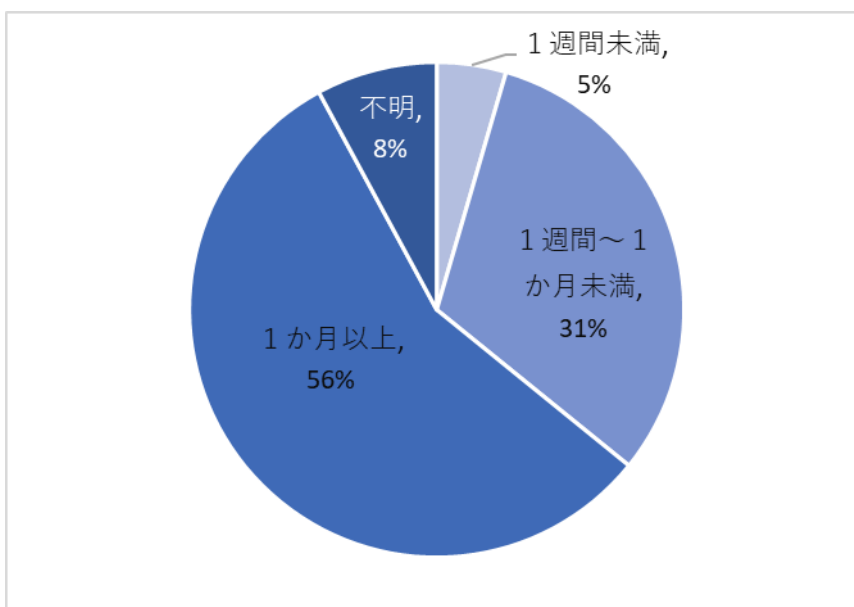


図 6-3 入院期間

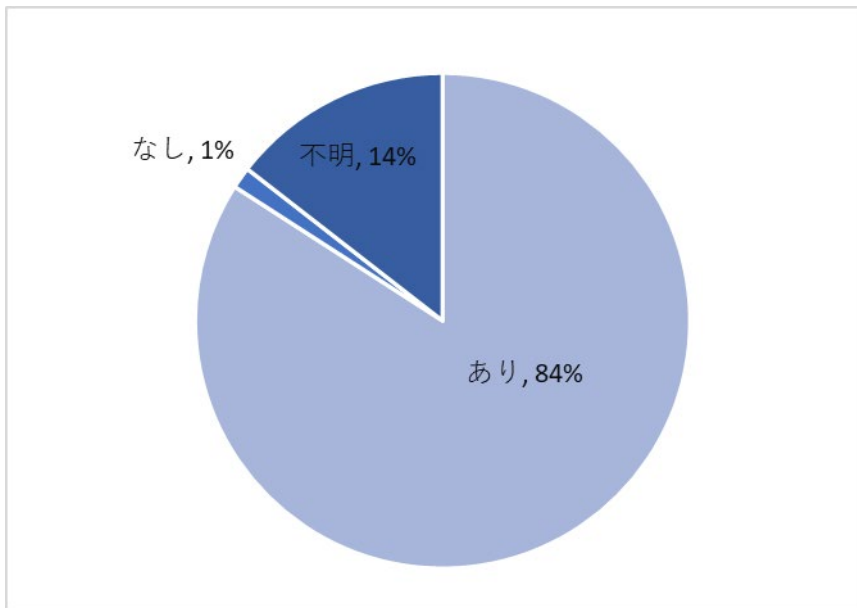


図 6-4 画像による病変確認

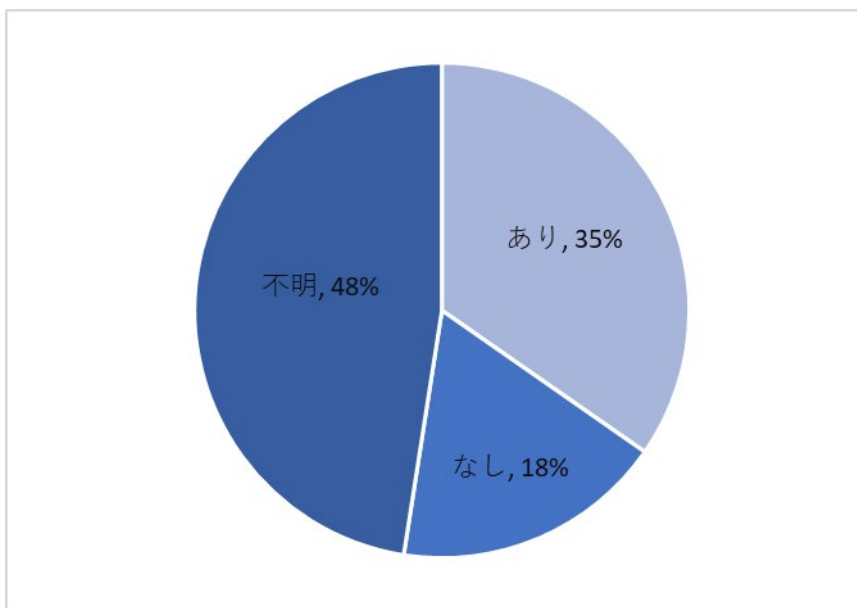


図 6-5 認知機能評価の有無

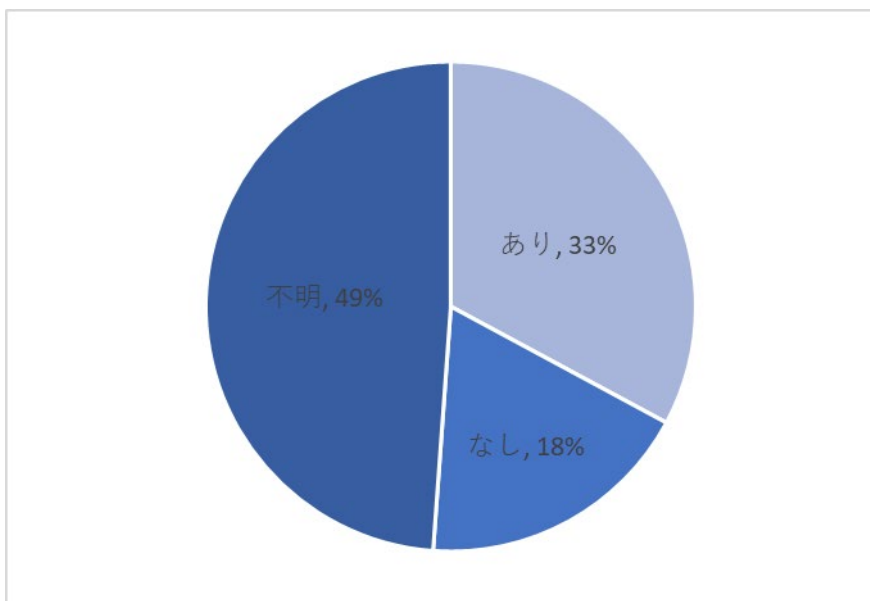


図 6-6 高次脳機能障害の可能性の説明

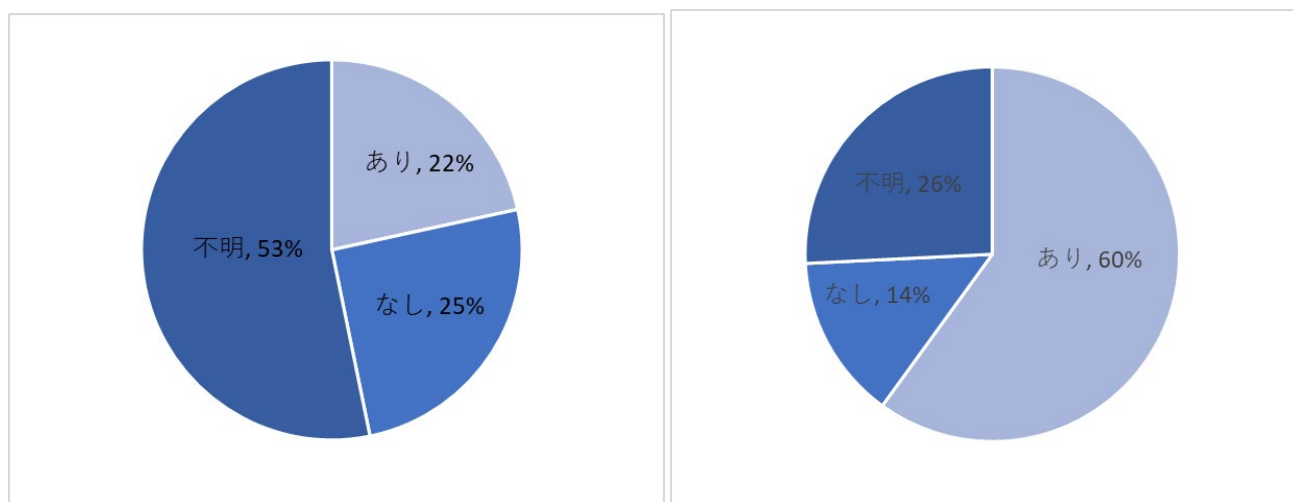


図 7 退院時における支援機関など相談先の情報提供：急性期（左）回復期（右）

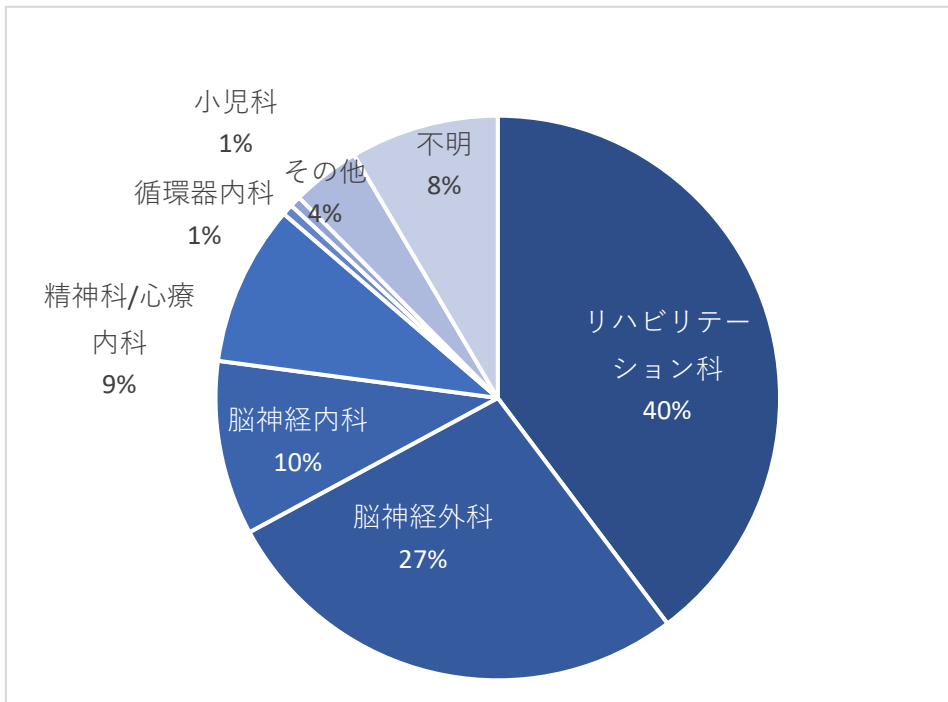


図 8-1 高次脳機能障害の診断をした診療科

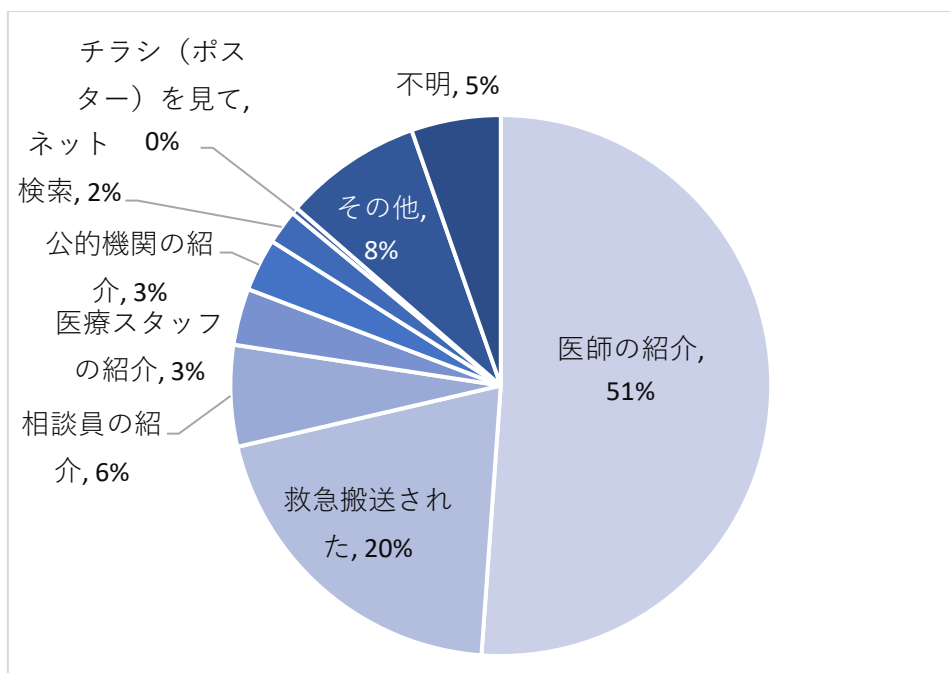


図 8-2-1 診断した医療機関をどのように知ったか

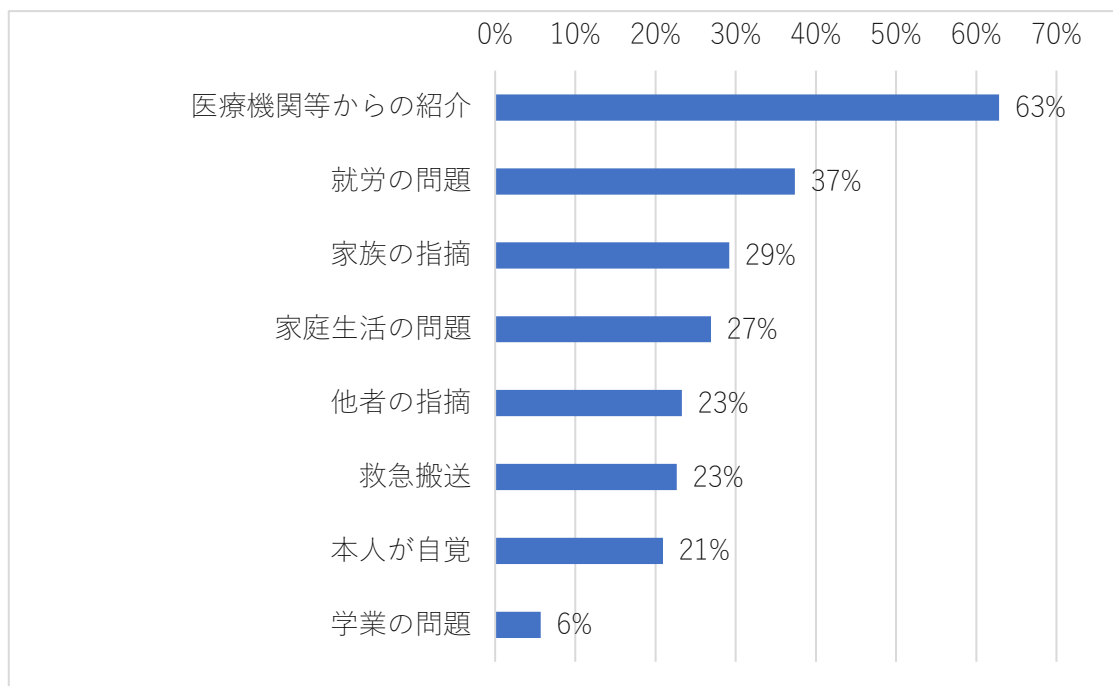


図 8-2-2 受診したきっかけ

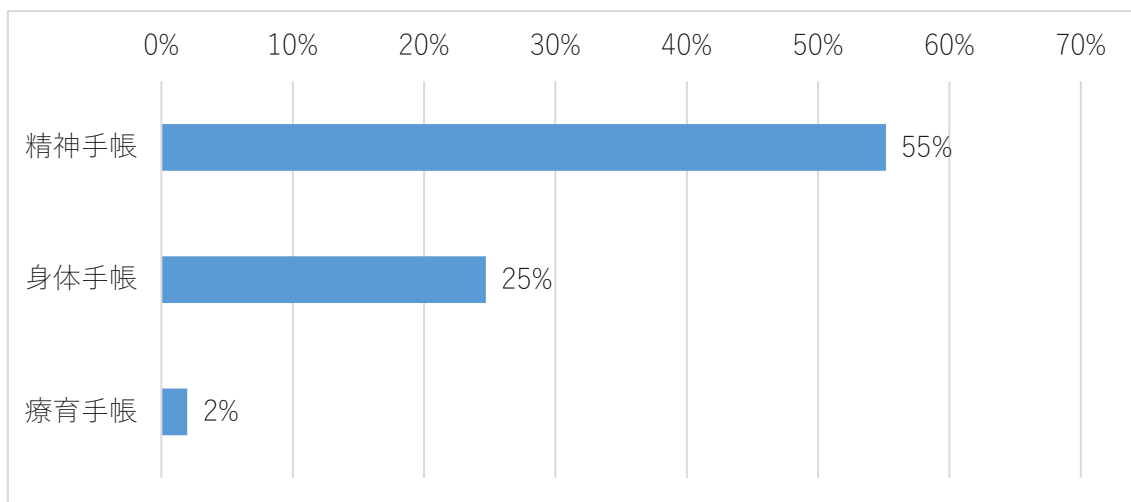


図 9-1 障害者手帳の所持

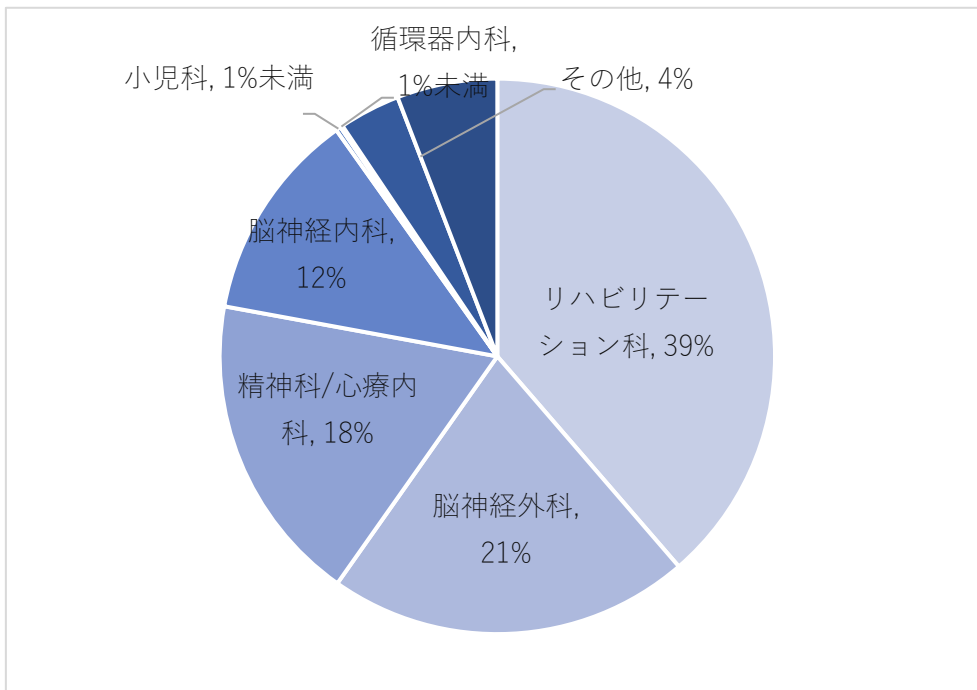


図 9-2 診断書を記載した診療科

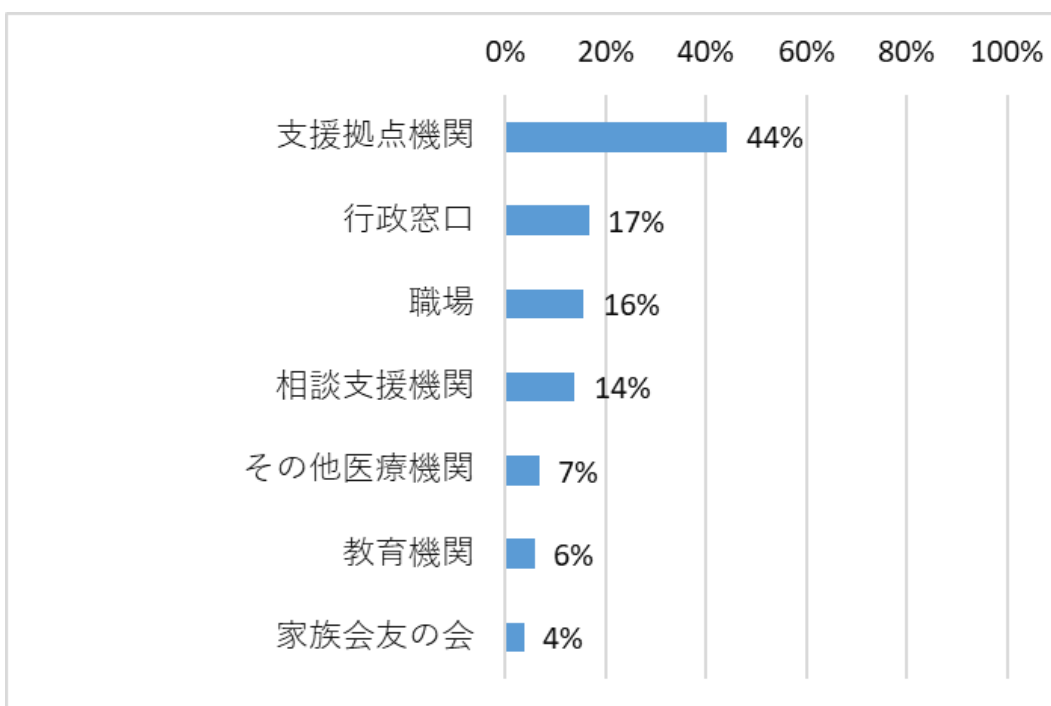


図 10-1 発症（受傷）後～診断までの間に相談した機関

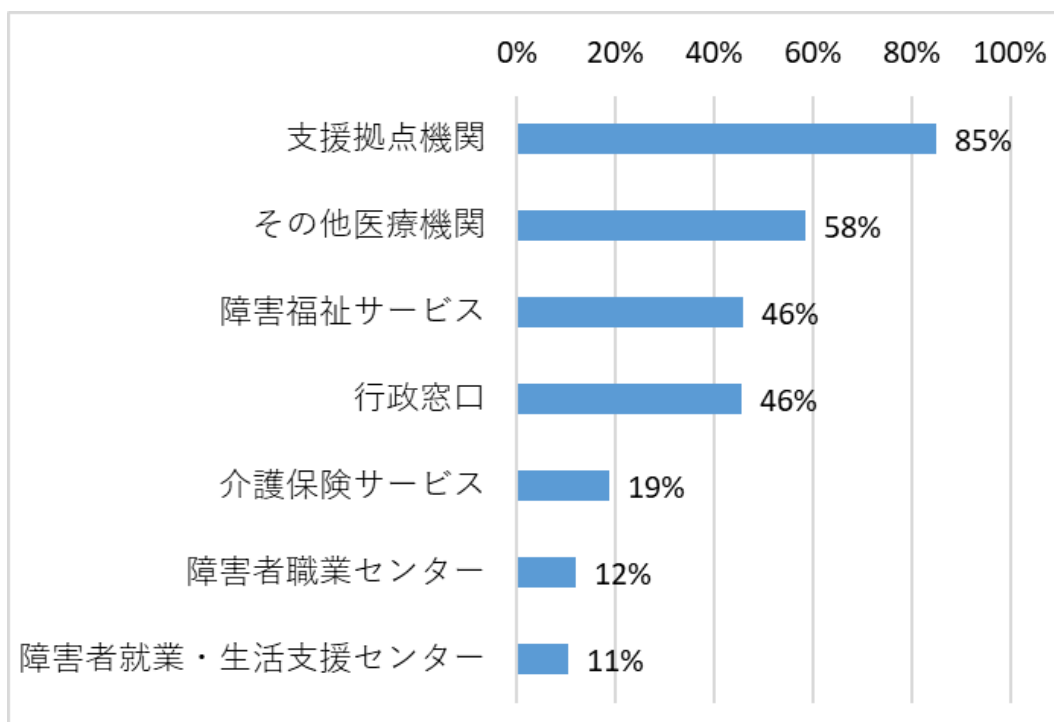


図 10-2 診断後に利用した機関

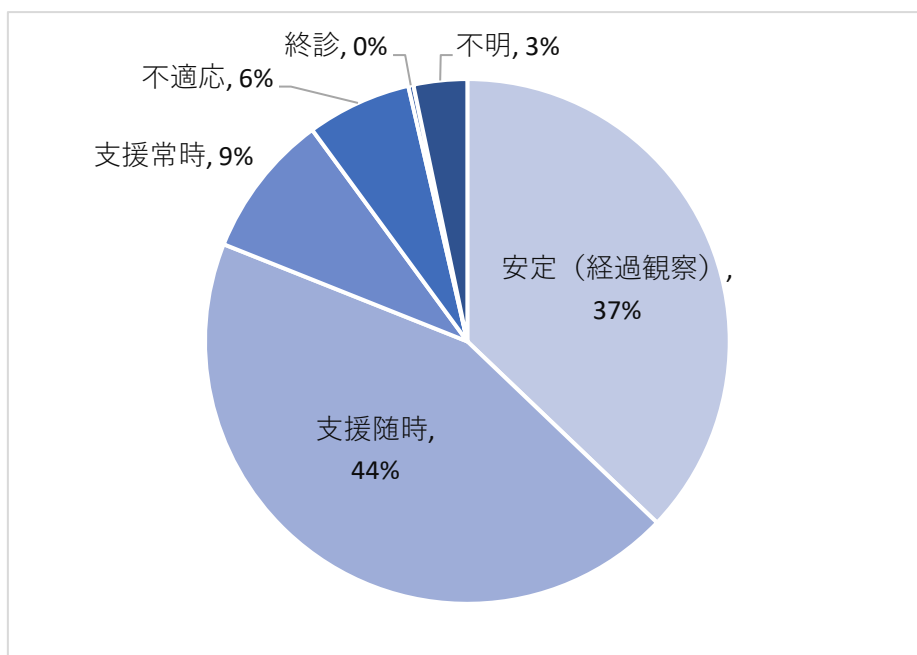


図 11-1 現在の状況

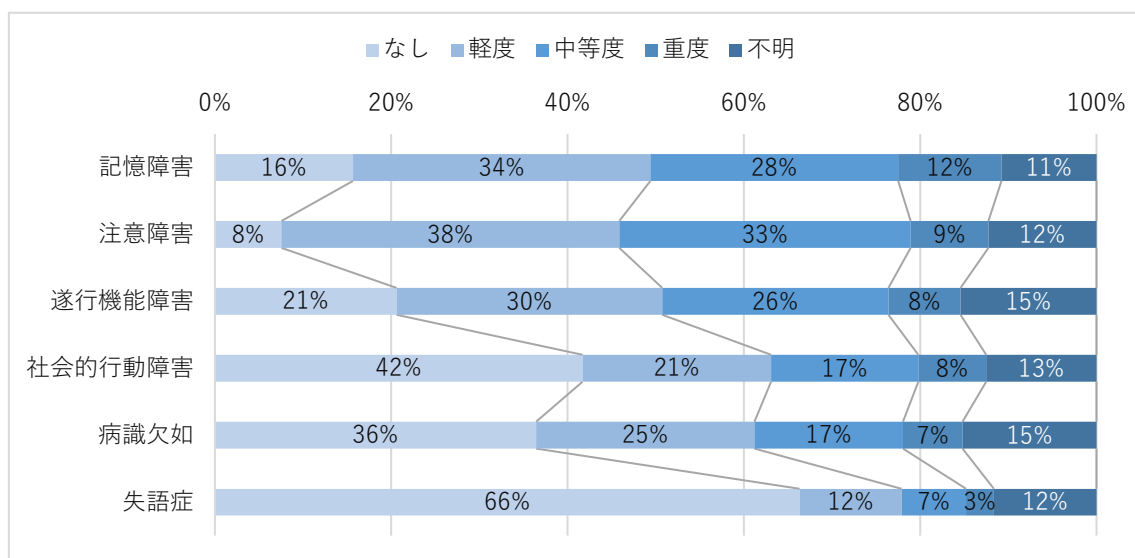


図 11-2 障害の状況

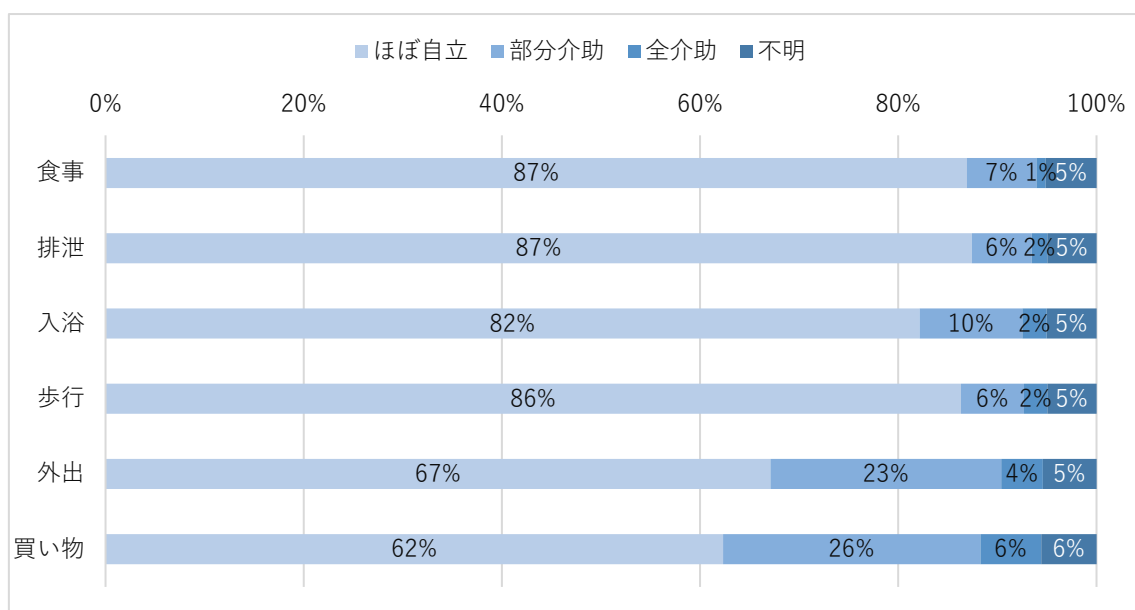


図 11-3 ADL・IADL

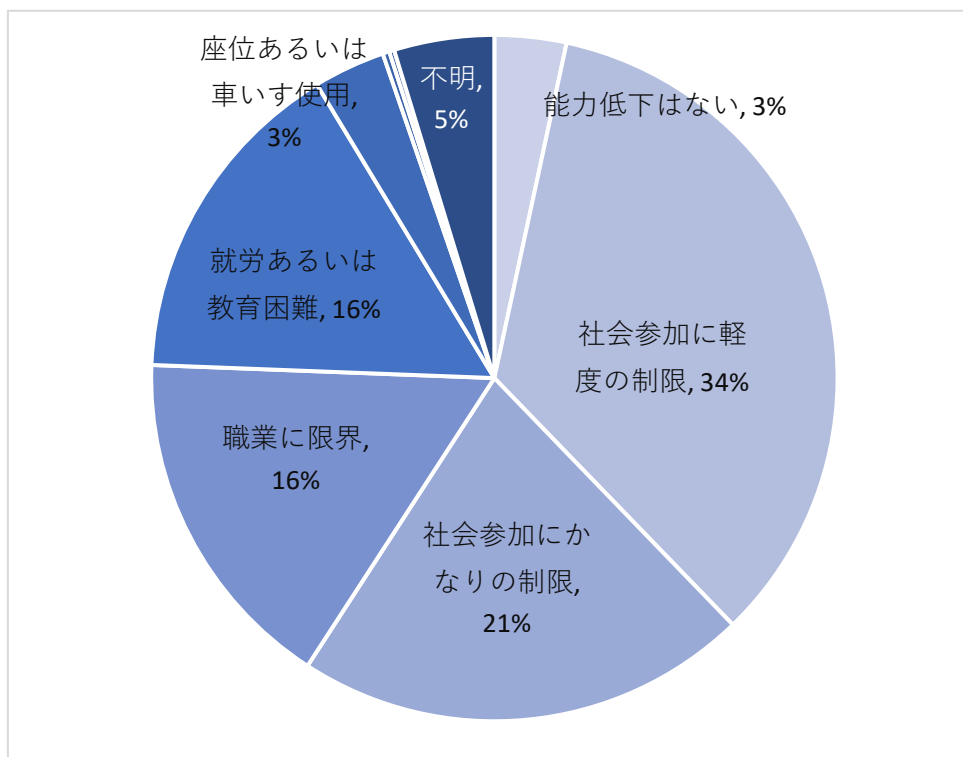


図 11-4 社会参加

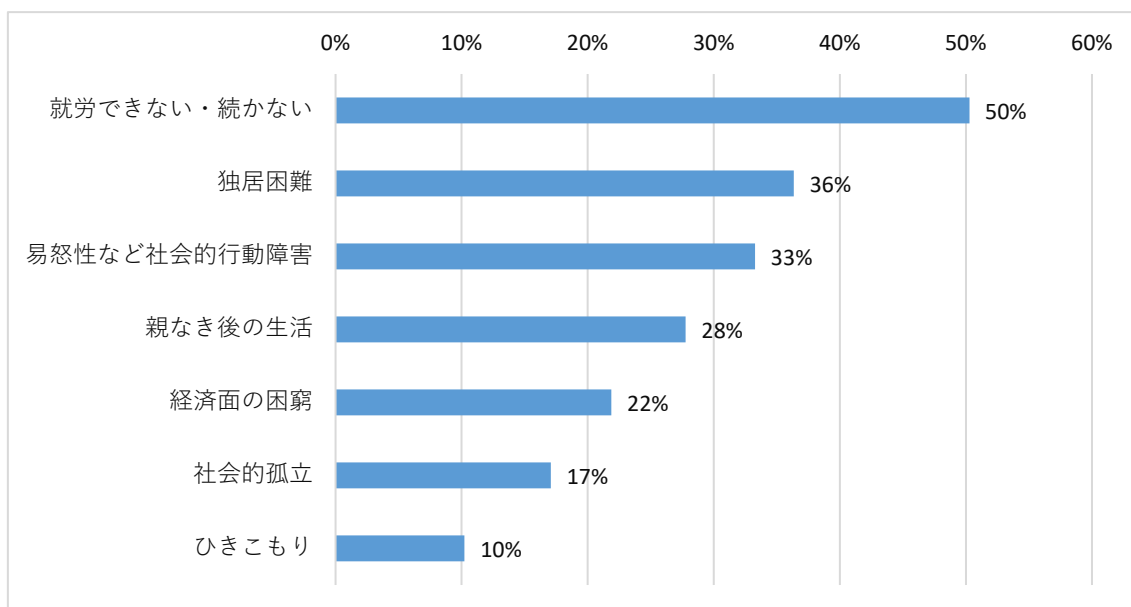


図 11-5 課題

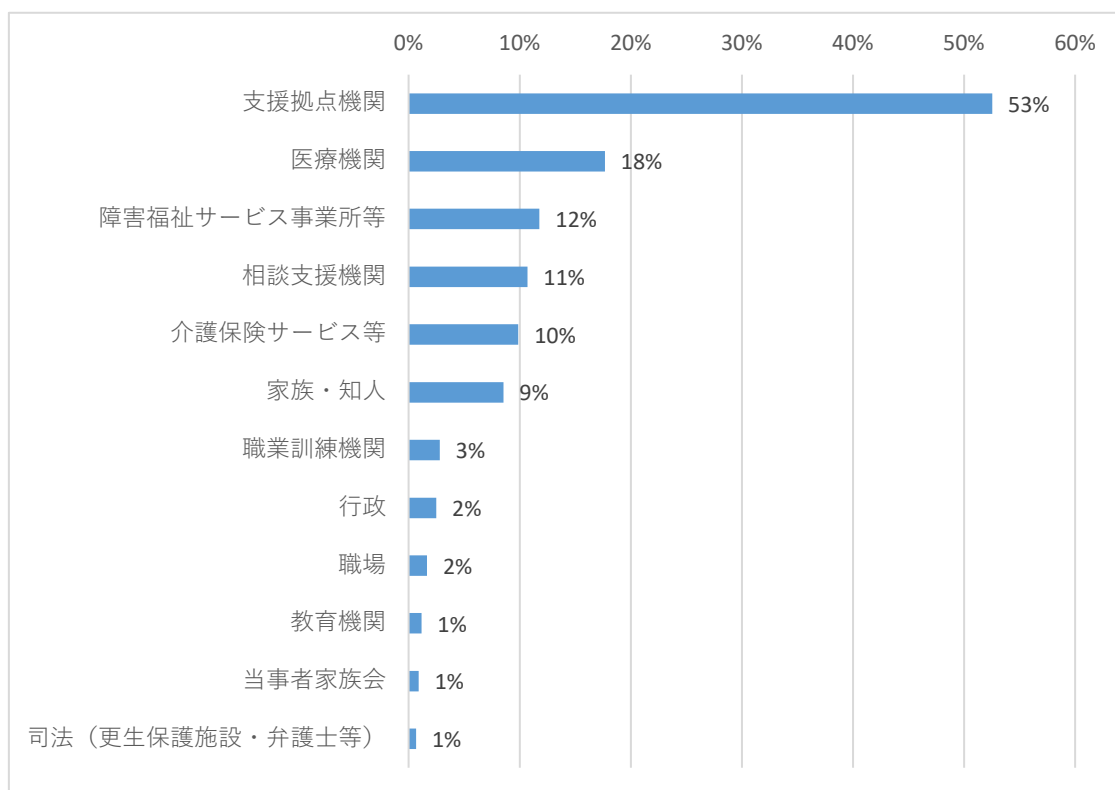


図 11-6 支援者